



中央仏教学院通信教育へのご入学、おめでとうございます。

仲間が  
いると、  
学びは  
より深く、  
もっと  
愉しく  
なります。

「東京地区つどいの会」は、中央仏教学院通信教育の公認を受けて全国30カ所で活動している、中央仏教学院通信教育生の自主運営学習会の一つです。首都圏（1都6県）と山梨、静岡、長野、新潟、福島から集まった百数十名の同朋が、ともに学んでいます。

平成28年度 全体講義

- 5つの特長**
- ① 講師による、教科書に添った講義や学習指導が受けられます。
  - ② CDだけでは学びきれない、正しい声明と作法が学べます。
  - ③ 疑問点はその場で解決！ 筆記・実技試験、レポート対策にもなります。
  - ④ 年5回（予定）僧侶講師を招き、全体講義を開きます、中仏講師などの公開講義も受講できます。
  - ⑤ 100人以上の仲間と学べるので、やる気が持続！ 卒業率が違います。

講師は、宗門内外で活躍される僧侶の先生方、学院通信教育部、築地本願寺からご協力をいただいています。さらに、中央仏教学院通信教育同窓会関東支部に、先輩講師（主に先輩僧侶）の派遣をお願いしています。

**費用** 入会金：不要 年会費：18,000円（専修2・3年は23,000円）

新入生には、別途、詳細案内をお送りします。

中央仏教学院の新入生名簿をもとに東京地区（1都6県と山梨・静岡、長野・新潟・福島）の方に郵送します。学院の「通信教育生の個人情報保護・開示について」に同意されないとお送りできませんのでご注意ください。

**代表あいさつ** 平成29年度代表 下口達夫（専修課程3年）

皆で励まし合いながら切磋琢磨して、卒業を目指しています。  
心から、皆様のご参加をお待ちしています。



## 東京地区つどいの会 Q&A

### Q 自分一人で通信教育が学べるでしょうか？

A どんな勉強も、究極的には自分一人で学ぶしかないとはいえます。しかし、仏教や浄土真宗を学ぶ同朋がいることが、学びの力になるのも事実です。御同朋と共に学ぶのが浄土真宗の特徴です。毎年行っているアンケートで、95%を越える方が「参加してよかった」と答えています。

### Q 声明が我流になってしまわないだろうか？

A 声明の難しさは「CDを聞いただけは、解らない」ところです。試験で上手な方との差に愕然とされる方がいる一方、自分の我流ぶりに気づけず「なぜ落第したか分からない」という方までいらっしゃるようです。東京地区つどいの会は、声明と作法を繰り返して練習。試験が「入会しておいて良かった」をもっとも実感する時かもしれません。

### Q 本当に卒業できるだろうか？

A 中央仏教学院に限らず、通信教育は通学教育に比べて卒業率が高くありません。独習の弱点と言えるでしょう。「東京地区つどいの会」参加者の卒業率は例年95%前後。一緒に学ぶ意義が、こんなところにもあるようです。

### Q 教科書でわからないことが出てきた…どうしよう？

A 教科書で疑問を感じても、学院から送られる「学びの友」で質問できます。が、「東京地区つどいの会」なら、学習会で講師や先輩、同級生に尋ね、その場で解決していくことができます。



## 参加者の声 — 参加者へのアンケート(平成28年)結果から —

学ぶ喜びを味わえる。  
レポート課題のヒントが得られた。

独学では限界のある知識を体系的に  
学習でき、各科目の要点が学べた。

学習会の雰囲気がよく、  
仲間に出会えて視野が広がった。

「おつとめ」は独習は難しい。  
実践的練習ができた。

CDを聴くだけでは聞き落としていた、  
声明のポイントが理解できた。

試験対策に適している。  
真宗の知識を整理することができた。

## 学習日程の一例 (1年生 部分)

	午前	午後
10月22日	学習の進め方	おつとめ(講仏偈、重誓偈)
10月29日	拝読浄土真宗のみ教え	宗教
11月19日	おつとめ(正信偈)	全体講義

※予定は変更になることがあります。  
※学習会は年間19回を予定しています。  
※会員外の方も1回2,000円で聴講できます。  
入会を決めかねている方は、  
「お試し聴講」をおすすめします。

今すぐ入会ご希望の方はFAXでお申込みください。

フリガナ 氏名	学籍番号	
住所 〒		
電話番号	携帯電話番号	メールアドレス

お申し込み先 代表：下口達夫(専修課程3年) **FAX:03-3905-7082**